

環境調査結果のお知らせ

令和3年1月21日9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が16.6～17.8℃、塩分が34.7～34.8、溶存酸素量が7.0～7.4mg/Lでした。
湾内の透明度は5.5～15.0mで、有毒種のアレキサンドリム属が最高で8 cells/mL確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は16.6～17.8℃、塩分は34.7～34.8でした。

前回調査時(R2.12.1)と比較して、水温は全層で2.6～3.0℃低下しました。塩分は全層で0.6～0.7上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は7.0～7.4mg/Lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で1.1～1.4mg/L増加しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は5.5～15.0mでした。

検鏡の結果、メソディニウム・ルブラムが最高で8cells/mL、有毒種のアレキサンドリム属が最高で8 cells/mL確認されました。アレキサンドリム属には平成29年に養殖魚の被害原因となった種類であるアレキサンドリム・レーイが含まれていましたので、増殖した場合には注意してください。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

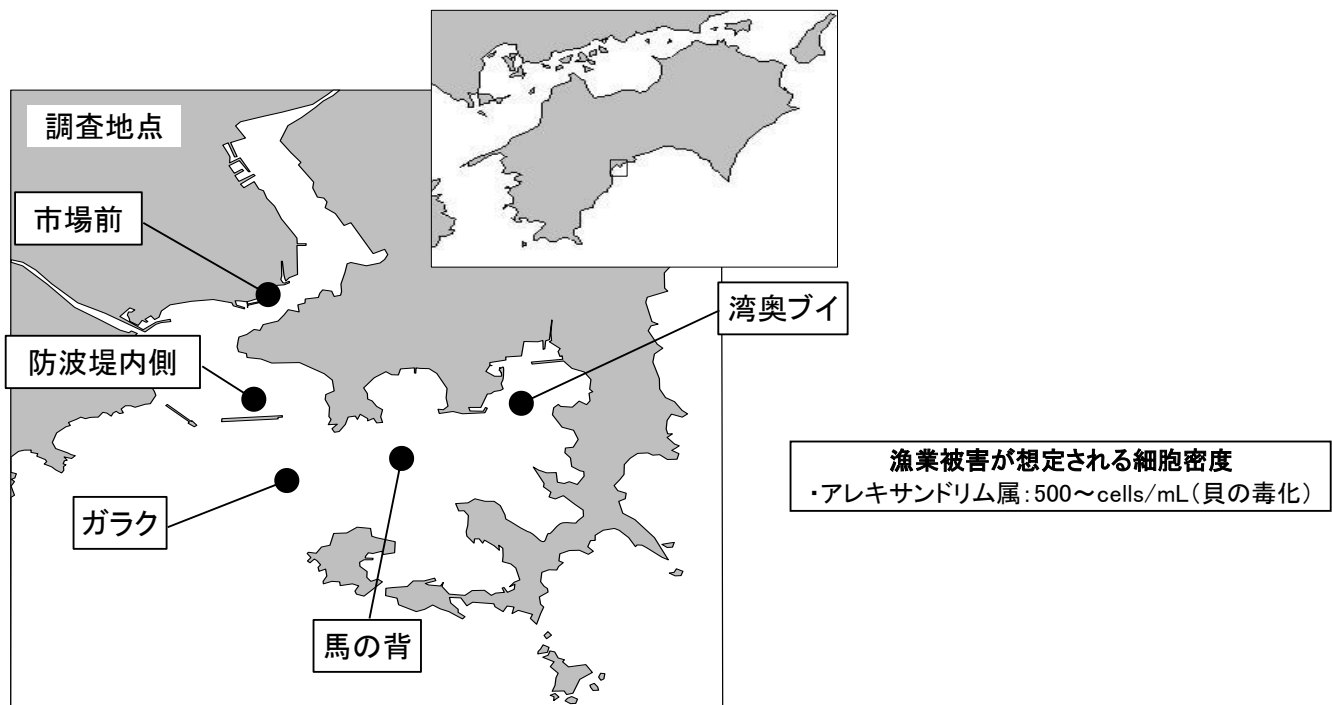


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R212.1)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	17.4	17.6	17.8	17.6	20.2	▲ 2.6	16.2	14.3
2m	17.3	17.6	17.8	17.6	20.2	▲ 2.6	16.2	14.4
5m	17.3	17.5	17.8	17.5	20.2	▲ 2.7	16.2	14.5
10m	17.1	17.3	17.7	17.4	20.2	▲ 2.8	16.3	14.8
B-1m	16.6	16.8	17.7	17.0	20.0	▲ 3.0	16.3	15.0

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R212.1)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	34.8	34.8	34.8	34.8	34.1	0.7	34.4	33.9
2m	34.8	34.8	34.8	34.8	34.1	0.7	34.4	33.9
5m	34.8	34.8	34.8	34.8	34.2	0.6	34.4	33.9
10m	34.8	34.8	34.8	34.8	34.2	0.6	34.5	34.0
B-1m	34.7	34.8	34.8	34.8	34.1	0.7	34.5	34.1

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R212.1)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	7.3	7.4	7.2	7.3	5.9	1.4	8.0	8.5
2m	7.3	7.4	7.2	7.3	5.9	1.4	8.0	8.6
5m	7.2	7.3	7.2	7.2	6.0	1.2	8.0	8.5
10m	7.2	7.1	7.1	7.1	6.0	1.1	8.0	8.3
B-1m	7.0	7.2	7.1	7.1	6.0	1.1	7.9	8.3

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.3	25.1	16.0	17.0	11.1
透明度	13.0	13.0	15.0	12.0	5.5
前回(12/1)	5.0	5.0	7.5	5.5	3.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		メソディニウム・ルブラム	アレキサンドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	5	0	0
	2m	3	8	2
	5m	3	8	0
馬の背	0m	8	0	0
	2m	4	0	0
	5m	3	0	10
ガラク	0m	3	0	0
	2m	6	0	0
	5m	6	0	0
津波防波堤内側	0m	2	0	4
	2m	1	0	0
	5m	0	0	20
市場前	0m	0	0	90
	2m	0	4	20
	5m	0	0	10